

16 か国の ICT 専門家が尼崎稲園高校を訪問 「情報科」等の授業見学、高校生との交流を行います

2 月 7 日（金）、JICA 関西の事業で来日しているアジア、大洋州、バルカン半島諸国 16 か国の ICT 専門家が尼崎稲園高校を訪問します。開発途上国の公的機関で ICT に携わる行政官を招く「ICT 案件形成能力向上」研修の一環として実施するものです。

開発途上国ではデジタル化が急速に進展しており、スマホ普及率は 2025 年には 80%を超えると予測されています。農業や保健医療、教育など、途上国がこれまで抱えてきたさまざまな課題の解決に向けて、ICT に大きな期待が寄せられています。

JICA 関西では、本研修で「ICT を使っていかに社会をよりよくできるか」というテーマのもと約 1 か月にわたり関西の自治体や企業の ICT や DX に関する取り組みを学び、知見を共有する機会を提供しています。

尼崎稲園高校では、16 か国の ICT 専門家は同校から ICT 教育の方針などの説明を受けた後、「情報科」等の授業見学を通じて教育現場で ICT がどのように活かされているかを学びます。また、部活動見学（剣道部、書道部、吹奏学部）を通じて、日本文化の継承を学校教育でどのように行っているかについても高校生たちと交流しながら体験します。

以下の日程で研修員へのインタビュー（英語通訳あり）が可能です。

日時: 2025 年 2 月 7 日(金)13:00-16:30(日英の通訳が同行します)

場所: 兵庫県立尼崎稲園高校(尼崎市猪名寺3-1-1)

参加者: 16 か国 16 名(各国の IT 関連省庁の技術者、政策立案者)

アゼルバイジャン、ジョージア、バングラデシュ、北マケドニア共和国、ソロモン、
東ティモール、ブータン、バヌアツ、コソボ、スリランカ、キルギス、トンガ、タジキスタン
ラオス、トルクメニスタン、パキスタン

取材をご希望の場合は必ず事前に問い合わせ先までご連絡ください。

本件に関する
問い合わせ先

JICA 関西 研修業務課 飯田

TEL 080-7138-1303 e-mail: lida.Tetsuji@jica.go.jp